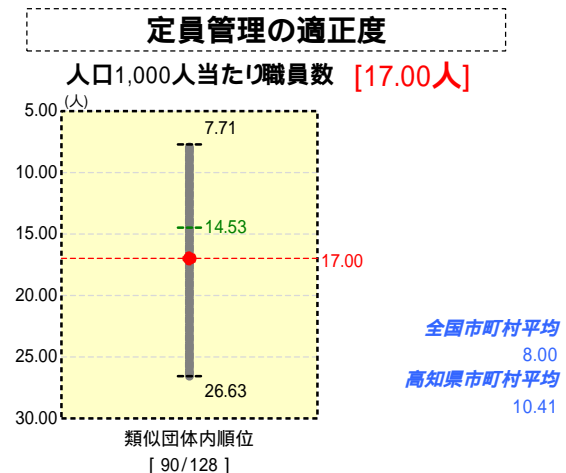
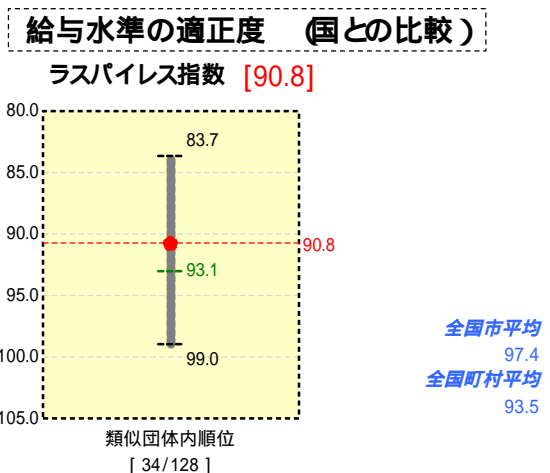
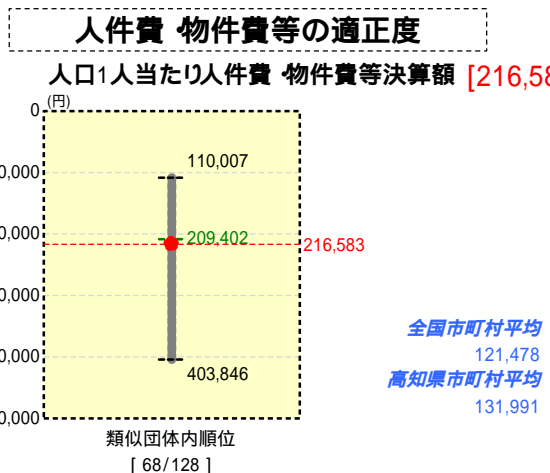
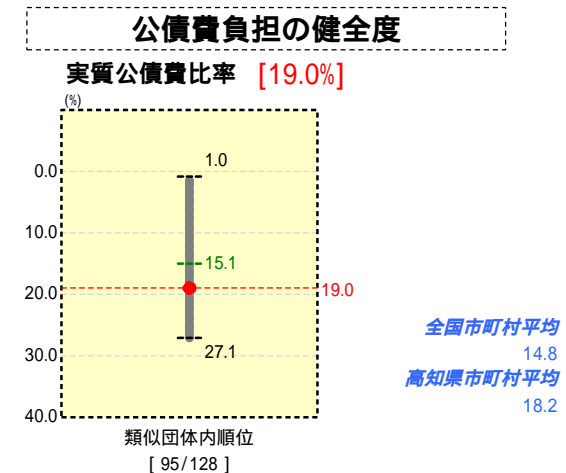
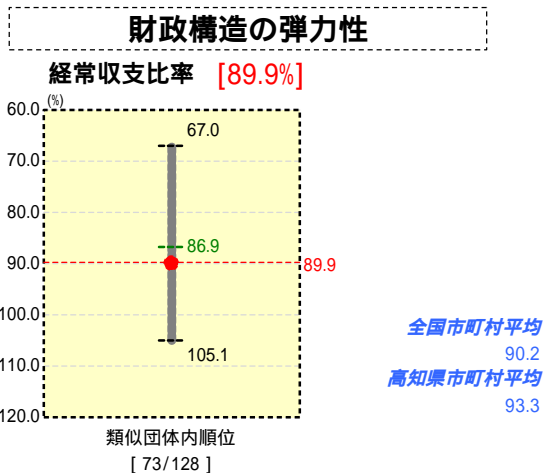
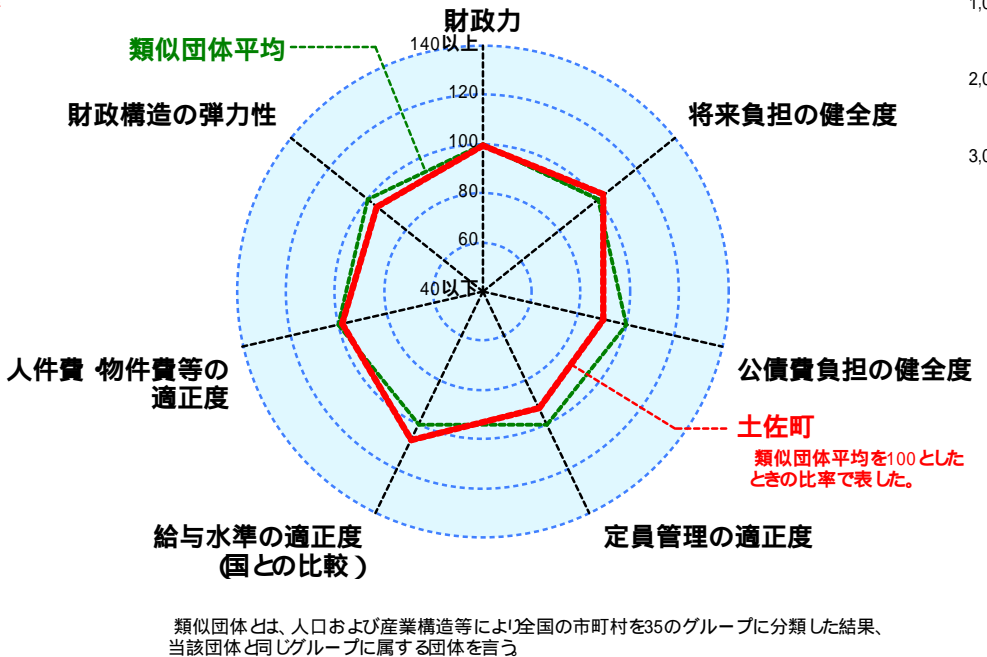
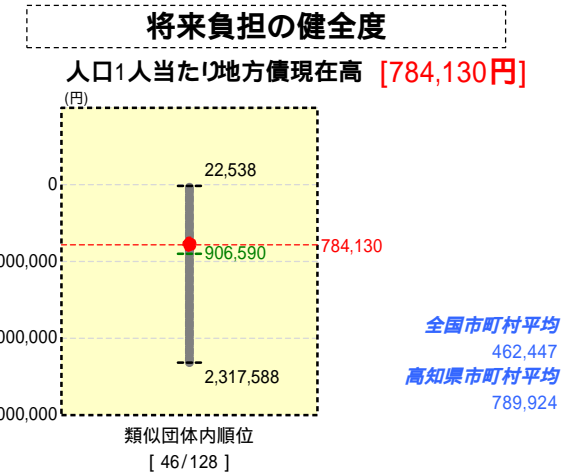
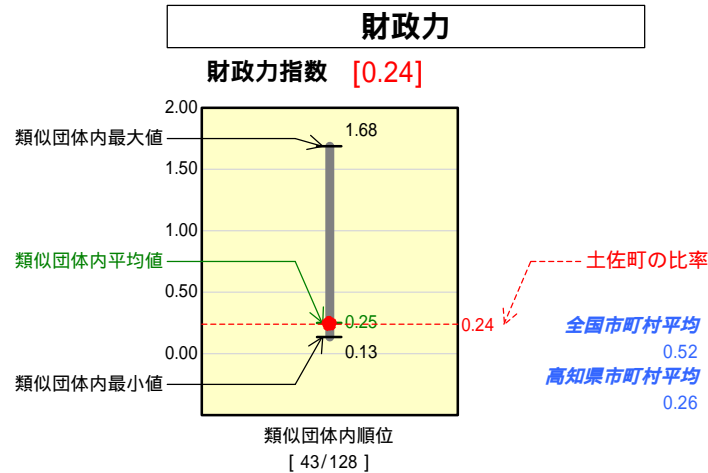


# 市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

## 高知県 土佐町

人口	4,766	人(H18.3.31現在)
面積	212.11	km <sup>2</sup>
歳入総額	3,809,397	千円
歳出総額	3,721,929	千円
実質収支	37,459	千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

**財政力指数**  
歳出削減や徴収業務の強化など一定の行政改革は行っているが、国の需要額抑制施策に加え、人口の減少や長引く景気の低迷による税収の減、ダム関係に係る償却資産減による固定資産税の減少などにより、財政力指数は前年度と比較してもほぼ横ばいである。

**経常収支比率**  
退職者不補充による職員数の削減及び給与カットによる人件費の縮小を含めた義務的経費の抑制などの歳出見直しを実施するとともに、税収の徴収率向上対策(未収金徴収職員の配置等)を中心とする歳入確保に引き続き努めており、前年度に比べ経常収支比率は減少(2.1%)している。しかし、類似団体平均を上回っており、今後は財政改革への取り組みを通して、更なる義務的経費の削減・財政健全化を図り、組織の見直し、民間委託の積極的利用などをめじた行政の効率化を進める。

**ラスパイレズ指数**  
職員の給与カットの実施等もあり類似団体の平均に比べ低くなっているが、年齢構成等の違いなどに大きく影響を受けるため、数値のみの比較は難しいと思われる。今後も退職者不補充の実施の継続等により人件費の縮減に努める。

人口1人あたり地方債現在高  
優良な地方債の発行及び繰上償還の実施等により類似団体平均よりは下回っている。普通会計ベースでは今後起債の償還額が減少傾向にあり今後の起債発行についても精選するとともに繰上償還を含め今後もより一層の健全化に努める。

**実質公債費比率**  
簡易水道事業及び下水道事業の起債償還額に対する繰上金が大きく影響し、類似団体平均を大きく上回っている。今後も下水道事業については継続が計画されており、簡易水道においても施設の老朽化が心配されている。そのため事業実施にあたっては普通会計における他事業との更なる調整を行い、公債費負担適正化計画に基づき健全化に向けた取り組みを行っていく。

**人口1,000人当たり職員数**  
退職不補充の実施により平成17年度末までの6年間で6人の人員を削減しているが、類似団体平均より多くなっている。今後も退職不補充を継続し、機構改革等の実施により少人数でも対応できる体制づくりを行っていく。

**人口1人当たり人件費・物件費等決算額**  
職員数の削減や給与カットによる人件費の縮小、旅費規程の見直し、需用費・役務費等の節減を実施しているが、類似団体平均と比較すると若干上回っている。今後は、臨時事務職員の廃止などを含め、更なる経費削減を図っていく。